

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 6号)

2023年11月27日発行
 兵庫県のみ研究所

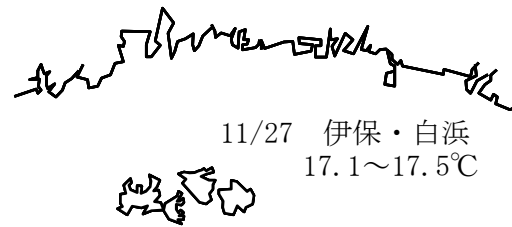
海域全般に、大型珪藻のコシノディスカスが確認されています。窒素は、西播地先漁場で $1 \mu\text{g at/L}$ 前後、沖合漁場で概ね $1 \sim 2 \mu\text{g at/L}$ の値となっています。

(珪藻)

海域全般に、コシノディスカスが確認されており、発生量は西播地先で減少していたが、沖合漁場では増加していた。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、赤穂～網干漁場で100～600細胞（前回値：600～2000細胞）、伊保・白浜漁場で800～1200細胞（前回値：1000～1200細胞）、沖合漁場で300～500細胞（前回値：50～150細胞）であった。

赤穂漁場では、コシノディスカス発生量は大きく減少していたが、小型珪藻のキートセロスが多く確認された。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.8	1.0	5.0	4.7
	リン	0.63	0.60	0.59	0.60
家島・坊勢	窒素	2.4	2.0	5.2	5.4
	リン	0.71	0.65	0.67	0.74

(11/16)

(11/28)

栄養塩（窒素） 図

2023年11月27日調査

